

校訓・教育目標

校 訓

豊かに 暢びやかに

校訓誕生の由来

これからの学校教育は、「生きる力」の育成を基本とし、生徒たちが自ら学び、自ら考える教育への転換を目指すとともに、知・徳・体のバランスのとれた教育を展開し、豊かな人間性とたくましい体を育てていくことが一層求められる。

このような教育の実現のために学校は、「ゆとり」ある教育環境で、「暢びやか」な教育活動を展開し、存在感や自己実現の喜びを実感する真の学舎とならなければならない。

以上のことから、校訓を「豊かに 暢びやかに」とするものである。

〈平成8年度 創立50周年記念誌より〉

校訓の願い

明るく、さわやかであり、気骨に満ち満ちている

(元 花巻市教育長 佐藤重利様の祝詞より)

教育目標

教育目標	指 標	具 体 的 目 標
自ら進んで 学習する生徒 「英知」	「基礎・基本」をしっかり学び、 関心・意欲を持って、課題解決に 取り組み、考えたことを相手に伝 えられる生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・話をしっかり聞くことができる ・基礎、基本を確実に身に付ける ・課題解決に基礎基本を活用できる ・自分の考えを持ち、発表できる ・計画的に学習を進めることができる
心身共に たくましい生徒 「錬磨」	健康でたくましい身体づくり の鍛錬に努め、物事に対して忍耐 強く取り組み、安全の知識や行動 を身につける生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで運動し、体力の向上に努める ・各活動に粘り強く取り組む ・自己の生活管理ができる ・体や健康に気を配る ・怪我や事故のないように生活する
思いやりのある 心の豊かな生徒 「敬愛」	自分を見つめ、他者との良い関 係をつくり、社会を考えることが でき、自然愛や人間愛を持って、 感謝の気持ちを表せる生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のこと（性格等）がわかる ・相手の気持ちを考えて行動する ・家庭や地域の一員として行動する ・仲間や生き物を大切にする ・礼儀を持って感謝の気持ちを表す ことができる
心をこめて 仕事をする生徒 「協働」	社会への連帯感や勤労奉仕な どの実践的社会性を身に付け、自 分の役割のみならず、みんなのた めに尽くす生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守ることができる ・節度ある行動ができる ・自分の行動や仕事に責任を持てる ・みんなと協力して仕事ができる ・周りの人のために奉仕することが できる

学校経営計画

1 経営の基本

- (1) 教育に「不易と流行」がある。本校の4つの教育目標は「不易」すなわち「時代を超えて学校教育で子供達に培うべき価値あるもの」を表したものであり、その実現を目指す。同時に「流行」すなわち「時代の変化とともに重点的に取り組む必要があるもの」を「経営の重点」として設定し、その達成に努める。
- (2) 教育目標の実現や経営の重点の達成のために「生徒一人ひとりの持つ可能性を最大限に伸ばす」「教職員一人ひとりが自分の能力を最大限に発揮する」ように努める。

2 経営の重点

- (1) 調和と統一のとれた教育課程の編成
学習指導要領の趣旨を生かし、地域及び学校の実態並びに生徒の特性を考慮し、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の調和のとれた教育課程の編成に努める。
- (2) 発達段階に即した学年・学級経営の推進と充実
学年主任を中心とし、各々の特性と専門性を生かしながら組織を分担し、意図的・計画的な運営を行い、効率的で質の高い実践をするように努める。
生徒の発達段階に即した目標や計画を、系統的・具体的に設定し、相互に実践を交流し合いながら、学級経営にあたるようにする。
- (3) 学習指導・進路指導の改善、充実
基礎基本の定着を図り、学び方を習得させるために、常に学習指導の改善と充実に努め、一人ひとりの生徒に自己調整力をつけるようにする。
人間としてのよりよい生き方、在り方を求める進路指導の改善、充実に努める。
- (4) 発達支持的生徒指導、道徳教育の充実
基本的生活習慣の定着を図り、望ましい心の触れ合いを深めるために、普段から全校生徒を対象とした発達支持的生徒指導に努め、一人ひとりの生徒に自己指導能力をつけるようにする。
- (5) 健康教育の充実
保健・安全・給食指導において、望ましい自己管理能力の育成を図り、健康・安全・食育教育の充実に努める。
- (6) 家庭・地域と連携した学校教育の推進
生徒の家庭・地域での生活状況を適切に把握し、学校教育活動に生かすようにするとともに、学校の教育活動での様子を伝えるなどして、家庭・地域と連携した教育活動の推進に努める。
- (7) 研究・研修の充実
教育公務員及び専門職としての自覚を持ち、絶えず研究・研修の充実に努める。
研究・研修の基本は自己研修とし、自己研修で得たものを全体の研究会に持ち寄り、相互に学び合う機会にする。

3 学校経営の具体的運営

- (1) 基礎・基本の確実な定着と学ぶ意欲、学ぶ力が高まる学習指導の充実
 - ① 基礎・基本の確実な理解と定着、個に応じた指導の充実
 - ・教科指導の充実と個に応じた指導を図る授業形態の工夫
 - ・わかる授業のための教材研究と校内研究を活用した指導の工夫
 - ・授業と連携した家庭学習の指導と定着
 - ・諸検査の結果を分析したことをもとに事後指導の工夫
 - ② 主体的に学ぶ意欲を高める指導の工夫
 - ・自身の学びや変容を自覚できる授業づくり
 - ③ 問題解決的な学習や体験的な学習を重視した授業の実践
 - ・学習意欲の向上と自己発信できる力を育成
 - ・多様な考えに対応できる創造性豊かな指導

(2) 豊かな心を育てる道徳教育や体験活動、発達支持的生徒指導の推進

- ① 全校生徒を対象とした、教育課程全てにおいての発達支持的生徒指導の展開
 - ・生徒指導の三機能+1（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かした指導の校内研修を行い、生徒指導に関する共通認識を図る。
 - ・授業を含めた全ての教育課程において、発達支持的生徒指導を展開し、生徒の自己指導能力の育成を図る。
- ② 生命尊重の態度と好ましい人間関係の育成
 - ・道徳の授業を要とし、教育活動全体で意図的・意識的に道徳的価値を指導する。
 - ・言語活動を多く取り入れ、コミュニケーション能力を育成する。
- ③ 集団の一員としての自覚を高め、成就感を持たせる活動の充実
 - ・各種活動にP D C Aのサイクルを導入し成就感と次への活動意欲の高揚を図る。
 - ・生徒会活動（委員会活動）や学年・学級会活動で自治意識の高揚を図る。
 - ・集団活動を通してリーダーとリーダーを支える心の育成を図る。
- ④ ふれあい活動を通して共感的人間関係を構築する指導及び支援の充実
 - ・総合的な学習で地域連携を図り、外部講師を活用して積極的に人と人との交流を図る。
 - ・震災からの復興教育を系統的に行う。
- ⑤ いじめ防止対策基本方針をもとにいじめ防止に努める。
 - ・「いじめ防止対策委員会」を設置し、いじめ防止を効率的・効果的に行う。
 - ・いじめ防止に関わる校内研修会を行う。

(3) 健やかな体を持った生徒の育成と健康・安全教育の充実

- ① 体力・運動能力の向上をめざした継続的な活動の奨励
 - ・継続的に部活動・地域クラブ活動に取り組みせ、心身共にたくましい生徒を育成する。
 - ・自己理解による目標を設定し、継続的に取り組むために確認の場を設ける。
- ② 保健・安全・給食指導の徹底により、望ましい自己管理能力の育成
 - ・保健・安全・食育に関する適切な情報を収集し提供する。
 - ・食育に関して適切な指導を行い意識の高揚を図る。
 - ・自己管理能力の育成を図る。

(4) 和やかで活気に満ちた学級経営と特別支援教育の充実

- ① 一人ひとりのよさを生かした学級経営の充実
 - ・生徒理解を深め個性を把握した進路指導の充実
 - ・集団相互の理解を図るための生徒のコミュニケーション能力の育成
 - ・自治能力育成のための班活動、学級活動、行事への取り組みの充実と活用
- ② 生徒の願いに応える特別支援教育の充実
 - ・個の特性に応じた学習指導の工夫による特別支援教育の展開
 - ・個々の生徒の課題を早期に把握し、指導の対応を共通理解する就学指導

(5) 日常研修の充実と家庭・地域と連携した学校教育の推進

- ① 重点研修課題の研究推進と自らの課題に基づく研修の充実
 - ・指導改善の創造と工夫（わかる授業づくり）
 - ・研究主題に基づく校内研究の推進と充実
- ② 家庭や地域の要望や期待、地域環境を考慮した教育活動の創造と充実
 - ・学校運営の適切な評価と情報収集
 - ・地域団体と連携を深めながらの教育活動
- ③ 地域や社会の変化への主体的な対応能力を高めるキャリア教育の推進
 - ・地域や社会に目を向ける体験活動の展開
 - ・将来の職業感や意識を高める進路指導
 - ・やりがいや生きがいを体験できる活動の工夫